

セントラルカップ 形の部 大会規約

■試合形式■

全クラス勝ち抜きトーナメント方式である。

審判員は3名（主審1名、副審2名）の旗判定とし赤・白の演武後に勝敗が判定される。

引き分けはない。

■クラス編成■

≪指定形クラス（正道少年型の部、正道実戦型の部、太極の部、平安の部）≫

・競技の進め方

競技開始時、主審の方から見て右手に赤、左手に白が並ぶ。審判員、お互いに立礼後、主審の「はじめ」の号令とともに指定型の中から演武する形（※指定型）の名前を宣言し赤白同時に演武を行う。両者演武終了後、主審の合図により旗で判定が行われる。競技者は審判員、お互いに立礼後退場する。

・指定型

正道少年型の部…少年型Ⅰ、少年型Ⅱ

正道実戦型の部…実戦型Ⅰ、実戦型Ⅱ

太極の部…太極Ⅰ、太極二段、太極下段など形名に『太極』がつくもの

平安の部…平安Ⅰ、ピーアンその2、ピンアン三段など形名に『平安（ピンアン）』がつくもの

※同じ形を繰り返し演武してもよいし指定型の範囲で変更可能

≪自由形クラス（創作形可能）≫

・競技の進め方

競技開始時、主審の方から見て右手に赤、左手に白が並ぶ。審判員、お互いに立礼後、白は競技場外に一度下がり、赤が演武を開始する。赤の演武終了後、赤は競技場外にさがり、白の演武となる。白が演武終了後、競技開始時の位置に立つ。その後主審の合図により旗で判定が行われる。競技者は審判員、お互いに立礼し退場する。

※同じ形を繰り返し演武してもよいし変更も可能

■判定基準■

・良いタイミング、リズム、スピード、バランス、極め

・着眼及び集中力

・技の正確性

・適切な立ち方

その他にも形の完成度を総合的に見て判断される。

■減点、反則、失格行為■

試合態度が悪い、暴言を吐く、礼をしない、審判員の指示に従わなかった場合など武道教育として相応しくない行為は審判の判断により減点または失格もありうる。